

# 2027年度 学生募集要項 (第3年次・第2年次) 編入学試験

## 目次

- ◆ **商 経 学 部**  
商 学 科 / 経 営 学 科
- ◆ **総 合 政 策 学 部**  
経 済 学 科 / 政 策 情 報 学 科
- ◆ **サ ー ビ ス 創 造 学 部**
- ◆ **人 間 社 会 学 部**

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| ■ アドミッション・ポリシー・・・・・・・・      | 1  |
| 〈第3年次編入学〉                   |    |
| ■ 募集人員・・・・・・・・              | 11 |
| ■ 出願資格・・・・・・・・              | 11 |
| ■ 出願手続き・・・・・・・・             | 11 |
| ■ 選考方法・・・・・・・・              | 13 |
| 〈第2年次編入学〉                   |    |
| ■ 募集人員・・・・・・・・              | 15 |
| ■ 出願資格・・・・・・・・              | 15 |
| ■ 出願手続き・・・・・・・・             | 15 |
| ■ 選考方法・・・・・・・・              | 17 |
| 〈 共 通 〉                     |    |
| ■ 面接試験会場・・・・・・・・            | 19 |
| ■ 小論文課題・・・・・・・・             | 19 |
| ■ 出願上の注意・・・・・・・・            | 22 |
| ■ インターネット出願・・・・・・・・         | 23 |
| ■ オンライン受験票・・・・・・・・          | 30 |
| ■ 検定資格・クラブ活動等の活動実績証明資料について・ | 31 |
| ■ 受験上の注意・・・・・・・・            | 33 |
| ■ 合格発表・・・・・・・・              | 35 |
| ■ 編入学手続きおよび学費等・・・           | 36 |
| ■ 単位認定の取り扱いについて・・           | 37 |
| ■ その他・・・・・・・・               | 37 |
| ■ 試験会場案内・・・・・・・・            | 38 |

1

## 事前確認

- ① 出願資格 → 第3年次:11頁、第2年次:15 頁
- ② 日程 → 2027 年 2 月 28 日(日)
- ③ インターネット出願に必要なもの → 23 頁
  - ◆インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末など
  - ◆利用可能なメールアドレス(携帯電話キャリアのアドレスは不可)
  - ◆A4 サイズの用紙が印刷可能な環境(自宅プリンター、ネットプリント等)

2

## インターネット出願

- ① マイページ・基本情報登録 → 23 頁
  - 出願受付期間前でも登録可**
  - ◆マイページ登録をした後、「基本情報」を登録
  - インターネット出願サイト:<https://www.guide.52school.com/guidance/net-cuc/>
- ② 出願登録(1/25 ~ 1/29) → 25 頁
  - 各入試の出願受付期間のみ登録可**
  - ◆入試区分、出願区分、志望学部・学科、試験会場選択し、入力
- ③ 出願書類の作成 → 第3年次:12 頁、第2年次:16 頁
  - 出願受付期間前でも作成可**
  - ◆本学 Web サイトからダウンロードし、作成(自筆記入・鉛筆不可)
  - ※その他必要な書類は各頁(第3年次:12 頁、第2年次:16 頁)を確認してください。
- ④ 入学検定料支払い → 26 頁
  - 各入試の入学検定料支払期間のみ支払可**
  - ◆支払い方法確認(入学検定料の他サービス利用料が必要)  
(コンビニエンスストア、ATM、クレジットカード、ネットバンキング)
- ⑤ 出願書類の印刷 → 26 頁、29 頁
  - ◆マイページ「出願完了画面」から**志願票**、**検定資格取得報告書**、**宛名ラベル**を A4 サイズで印刷
  - ※マイページ内「出願確認」メニューからも印刷可
- ⑥ 出願書類の提出(郵送)
  - ◆チェックシートを基に提出書類を準備し、郵送(簡易書留・速達)/締切日消印有効



3

## 受験票の印刷 → 30 頁

- ◆受験票公開期間中のみマイページにログインし「オンライン受験票」から印刷可能。
- ◆受験票記載の**試験日**、**受験番号**、**集合時間等**を確認。
- ◆印刷(A4 サイズ)し、試験当日に持参。

4

## 受験 → 33 頁

- ◆面接(20 分程度の個人面接)
- ◆受験上の注意(試験前日まで、試験当日、その他)を確認。

5

## 合格発表 → 35 頁

- ◆合格発表日にマイページ「合否結果」より合否を確認。

マイページログイン URL:<https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja>



6

## 編入学手続き → 36 頁

- ◆合格者向け特設サイト、マイページ「オンライン入学手続き」ガイダンスを確認のうえ、手続きを行う。
- ◆手続き締切日は 36 頁を確認。

## 1. アドミッション・ポリシー

### 千葉商科大学のアドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

「アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)」とは、千葉商科大学が入学を希望する方に求める能力や資質に関する考え方のことです。

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とする。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

#### <本学の求める学生像>

- ◆【基礎的な学力】高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆【高い倫理観】実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆【幅広い教養】実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身に付けようとする意欲を持つ学生
- ◆【専門的な知識・技能】実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生

#### <入学者選抜の基本方針>

一般選抜では、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を、主に学力試験によって測り選抜する。レベルとしては高等学校の授業に準拠した内容を問うものとする。幅広い範囲からの出題とし、高等学校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。

総合型選抜、学校推薦型選抜および特別選抜では、本学の求める学生像を体現する意欲や適性を、面接試験や書類審査などで測り選抜する。

全選抜方式で、高等学校における学習状況や特別活動の記録などを調査書等で確認し可否の判断材料の一つとする。全体の学習成績の状況等は出願要件に含まれることもある。

※本学および各学部・学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、本学 Web サイト

(<https://www.cuc.ac.jp/>→「教育／学部・大学院」→「各学部ページ」→「3つのポリシー」)を参照してください。

## 商経学部のアドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

商経学部では、伝統と実績を重んじつつ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、劇的に変化する経済や社会に対して柔軟に対応し、高い倫理観を持って企業活動を変革できる人材、『ビジネスプロフェッショナル』人材を育成することが教育目標である。

上記の教育目標に基づくディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの達成のため、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能を持ち、商学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生を受け入れる。

### <求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 商学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ さまざまな資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

### <入学者選抜の基本方針>

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

#### 1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

##### (2) 公募制学校推薦型選抜

【学業評価型】小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

【検定資格評価型】検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

【プレゼンテーション型】プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

【検定資格評価型】検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

【卒業教員連携型】人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

【探究学習評価型】探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

【適性試験型】高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

【検定資格評価型】検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

【活動評価型】課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

【活動評価型】課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

【学力評価型】高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

【特待生選抜型、一般選抜型】文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

#### 3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

##### (1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

#### 4. 特別選抜

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

## 商経学部 商学科のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

商学科では、ビジネス・経済・社会に関する幅広い専門的知識と、問題発見と分析能力を身につけ、多様な意見や考え方を尊重し、社会の発展に主体的・組織的に貢献する人材の育成を教育目標とする。

具体的には、マーケティング、ファイナンス、簿記会計に関する知識を備え、経済活動の運営・管理や維持・発展に関する知識・データ・情報技術に基づいて企業や社会の課題を発見して解消に取り組むことができる人材を育成する。

### <求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 商学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ 日商簿記検定に代表される簿記資格や、マーケティング、ファイナンスにかかわる資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

### <入学受入れの基本方針>

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

#### 1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

##### (2) 指定校制学校推薦型選抜(公認会計士プログラム特待生選抜)

検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

##### (3) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型]小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

[プレゼンテーション型]プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[卒業教員連携型]人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[探究学習評価型]探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主

体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

[適性試験型]高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

[学力評価型]高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

[特待生選抜型、一般選抜型]文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

#### 3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

##### (1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

#### 4. 特別選抜

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

## 商経学部 経営学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

経営学科では、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と分析能力を身につけ、ビジネス・経済・社会に関して、その多様性を多面的・多角的な視点から理解し、異なる背景や意見を持つ人々と効果的にコミュニケーションをとることで、社会の発展に主体的・組織的に貢献する人材の育成を教育目標とする。

具体的には、経営に関わる諸理論の理解を踏まえ、企業などの経済活動の運営・管理や維持・発展に関する具体的知識・データに基づいて経営課題を発見して解消に取り組むことができる人材を育成する。

### <求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 経営学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ 日商簿記検定に代表される簿記資格や、中小企業診断士、経営学検定、ビジネス会計検定などの資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

### <入学者選抜の基本方針>

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

#### 1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

##### (2) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

〔プレゼンテーション型〕プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主

体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜型、一般選抜型〕文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

#### 3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

##### (1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

#### 4. 特別選抜

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

## 総合政策学部のアドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

総合政策学部では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

### <求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感和モラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
- ◆ 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学などの諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 入学後に学ぶ理論や技能を実社会の現象や課題と結びつけて深く理解し、修得した専門的能力を総合的に応用して、実社会の課題解決に取り組む意欲を持つ学生

### <入学者選抜の基本方針>

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

#### 1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

##### (2) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

〔プレゼンテーション型〕プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜型、一般選抜型〕文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

### 3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

##### (1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

### 4. 特別選抜

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。



経済学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

#### <求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
- ◆ 経済学を中心とした社会科学の諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 経済学の理論や実証分析の方法を学んだ上で、経済・社会における諸課題の解決に向けた政策立案や原因探究に取り組む意欲を持つ学生
- ◆ 企業行動や地域産業の動向など、実学としての経済学を学び、社会全般に通じるビジネススキルを修得しようとする意欲を持つ学生

#### <入学受入れの基本方針>

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

#### 1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

##### (2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型]小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

[プレゼンテーション型]プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[卒業教員連携型]人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[探究学習評価型]探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

[適性試験型]高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

[学力評価型]高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

[特待生選抜型、一般選抜型]文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

#### 3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

##### (1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

#### 4. 特別選抜

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。



政策情報学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

#### <求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
- ◆ 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 公共政策とまちづくりを学んだ上で、地域社会の活動へ主体的に参加し、社会を構成する多様な人々と共創的に活動する意欲を持つ学生
- ◆ デジタルメディア技術を駆使して課題解決する意欲を持つとともに、人々の共感を呼ぶメディア表現技法を修得して、公共政策、まちづくり、ビジネスで活用しようとする意欲を持つ学生

#### <入学受入れの基本方針>

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

#### 1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

##### (2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型]小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

[プレゼンテーション型]プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[卒業教員連携型]人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[探究学習評価型]探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経

験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

[適性試験型]高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

[学力評価型]高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

[特待生選抜型、一般選抜型]文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

#### 3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

##### (1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

#### 4. 特別選抜

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

## サービス創造学部のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

サービス創造学部では、これからの新しい社会で求められるサービス創造人材の育成を目指している。そのため、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「3つの学び」を中心としたカリキュラムを通して学んでいく意思を強く持ち、多くの公式サポーター企業の協力の下、そうした学びの機会を積極的に活用して他者とともに成長する意欲のある学生を歓迎する。

### <求める学生像>

- ◆ ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)  
サービス創造に関する高い社会的関心を有し、自身の将来目標や学修目標を明確に設定しながら、サービス創造を学び続ける意欲、サービス創造に向けた実践的な学びに主体的に関わっていく意欲のある学生
- ◆ 基礎学力  
サービス創造学部の学びを修めていくために必要となる、基礎的な知識、思考力、表現力等について、高等学校までの教育課程で幅広く習得し、かつ、その内容を十分に身につけている学生
- ◆ 協調性および社会的マナー  
他者と責任を持って協働する態度、ならびに、学内外の様々な人々と交流して協働を通じた学びを実現していくための、品格、社会性を備えた学生
- ◆ 実行力  
目標達成に必要な物事を的確に見極め、それらを最後まで成し遂げるために自ら積極的に努力することのできる学生

### <入学受入れの基本方針>

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

面接試験においては、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「3つの学び」を中心とする学部カリキュラムを理解し、入学後の学修目標を具体的に定めてくと同時に、高等学校在学中に努力してきたことを詳しく説明できるかを確認する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

#### 1. 学校推薦型選抜

「ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

##### (2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型]小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

「ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に成績優秀で、様々な学びの場でリーダーとして活躍できる人物であると判断された場合、給費生に認定する。

[プレゼンテーション型]プレゼンテーションでは特に、課題への理解、課題解決に向けた発想力と論理展開力、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[卒業教員連携型]人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[探究学習評価型]探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経

験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

[適性試験型]高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[活動評価型]課外活動における優れた取り組みや活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

[活動評価型]課外活動における優れた取り組みや活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

[学力評価型]高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。また、サービス創造学部で成長していくために求められる(求める学生像)との適合性については、面接試験を通じて評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

[特待生選抜型、一般選抜型]文化部、運動部等における優れた活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

#### 3. 一般選抜

サービス創造の学びに必要な基礎学力を備えていることを、学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査を通じて判断し、総合的に合否を判定する。本選抜においても、サービス創造学部で成長していくために求められる「ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点についての重要性を理解していることが求められる。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

##### (1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

#### 4. 特別選抜

「ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

日本語能力試験の成績から、「知識・技能」を評価し、面接試験においては「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

## 人間社会学部のアドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

人間社会学部では、持続可能性(サステナビリティ)が求められる現代社会で活躍できる人材を育成することを目的としている。そのためには、持続可能で誰もがよりよく生きられる世界を構想する力と実践力を身に付けることが望ましい。そのような構想をするためには、人・社会・自然にかかわる事象・問題に対する幅広い関心を持ち、自ら調べていくことが必要である。また、構想の下で実践的な活動をするためには、多様な他者への理解と尊重を基盤とする協働が不可欠である。社会学を中心に、経済学、政治学、環境学、社会福祉学など幅広い学問を学ぶことで世界を知り、社会的課題を自ら調べ、多様な他者とともに協働し、実践に積極的に取り組み、持続可能な世界の実現にむけて学修していく意欲を持った学生を歓迎する。

### <求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、修学に必要な基礎学力を有する、知識を広げるために自分自身で深く調べる意欲のある学生(知識・技能)
- ◆ 持続可能で誰もがよりよく生きられる世界を構想し実現しようとする意欲のある学生(思考力・判断力・表現力)
- ◆ 論理的な思考力と精確な読解力、的確な発信力を持つ意欲のある学生(思考力・判断力・表現力)
- ◆ 多様性の理解に向けて、異なる文化、社会、歴史的背景を持つ人々の主張を尊重し、活発な意見交換をする意欲のある学生(主体性・多様性・協働性)
- ◆ 学内外の様々な他者と連携して実践的な学びに自分から関わっていく積極性と協働性を持つ意欲のある学生(主体性・多様性・協働性)

### <入学者選抜の基本方針>

人間社会学部の入学者選抜では、「求める学生像」で示した力を以下の方法によって評価する。

面接試験では、主に、持続可能な社会の実現を求める意欲、論理的な思考力や的確な発信力、多様性の理解、学びに対する積極性、課題に取り組む協働性などを総合的に評価する。調査書や修学計画書では、高等学校における学びに対する積極性、他者との協働性を評価する。検定資格取得報告書および学力試験等では、高等学校までの基礎学力および精確な読解力を評価する。具体的な選抜の方針は以下である。

#### 1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、小論文等を用いて主に「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を評価し、総合的に可否を判定する。

##### (1) 指定校制学校推薦型選抜

推薦書、調査書、小論文の内容から主に「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

##### (2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型]推薦書、調査書、小論文の内容から「知識・技能」を確認する。特に、主に「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

[検定資格評価型]推薦書、調査書、検定・資格の保有状況から主に「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

#### 2. 総合型選抜

修学計画書、小論文、面接等を用いて主に「思考力」および「発信力」、「多様性の理解」、「積極性」、「協働性」を評価し、総合的に可否を判定する。

##### (1) 給費生総合型選抜

特に優秀な人物を給費生として選抜するために、課題への探究的な取り組みや資格保有の状況、卒業教員による人物評価を選抜方法とする。

[プレゼンテーション型]課題の理解、データ収集手法の適切さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「多様性の理解」および「読解力」、「発信力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを重視し評価する。

[卒業教員連携型]人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

[探究学習評価型]探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に、「多様性の理解」および「積極性」、「協働性」を重視し評価する。

##### (2) 一般総合型選抜

[適性試験型]適性試験の成績を踏まえ「知識・技能」を確認する。特に、面接から「思考力」、「発信力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を確認する。特に「基礎学力」を有していることを重視し評価する。

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

##### (3) 併願総合型選抜

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

[学力評価型]高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

##### (4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

[特待生選抜型、一般選抜型]文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に、「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

#### 3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査を用いて主に「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、総合的に可否を判定する。

##### (1) 個別試験型

個別試験の成績を中心とし、これに調査書の評価を加味して「基礎学力」を評価する。学力試験においては指定科目型では特に「国語」を重視する。

##### (2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績を中心とし、これに調査書の評価を加味して「基礎学力」を評価する。

#### 4. 特別選抜

##### (1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、面接試験では「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

##### (2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、給費生として選抜する。

# 第3年次編入学

## 2. 募集人員

| 学 部      | 学 科      | 募集人員 |
|----------|----------|------|
| 商 経 学 部  | 商 学 科    | 若干名  |
|          | 経営学科     |      |
| 総合政策学部   | 経済学科     | 若干名  |
|          | 政策情報学科   |      |
| サービス創造学部 | サービス創造学科 | 若干名  |
| 人間社会学部   | 人間社会学科   | 若干名  |

## 3. 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者(学士の学位を有する者)、および 2027 年3月までに卒業する見込みの者
- (2) 短期大学、高等専門学校を卒業した者、および 2027 年3月までに卒業する見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程で、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上、かつ課程の修了も必要な総授業時間が 1,700 時間以上であること)を満たす課程を修了した者(ただし、学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る)、および 2027 年3月までに修了する見込みの者
- (4) 高等学校、中等教育学校後期課程および特別支援学校高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者(学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る)、および 2027 年3月までに修了する見込みの者
- (5) 修業年限4年以上の大学において2年以上在学し、62単位以上を修得した者、および 2027 年3月までに修得する見込みの者

## 4. 出願手続き

### (1) 試験日程等

| インターネット出願<br>受付期間                                    | 入学検定料<br>支払期限        | 出願書類<br>提出締切日       | 受験票公開日                |
|------------------------------------------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|
| 2027 年 1 月 25 日(月)<br>9:00<br>～ 1 月 29 日(金)<br>16:00 | 1 月 29 日(金)<br>17:00 | 1 月 29 日(金)<br>消印有効 | 2 月 15 日(月)<br>17:00～ |

| 試 験 日       | 選考開始時刻                 | 合格発表日                | 入学手続き締切日                       |                                |
|-------------|------------------------|----------------------|--------------------------------|--------------------------------|
|             |                        |                      | 第 1 次                          | 第 2 次                          |
| 2 月 28 日(日) | 9:30～<br>または<br>13:30～ | 3 月 6 日(土)<br>17:00～ | 2027 年<br>3 月 12 日(金)<br>12:00 | 2027 年<br>3 月 22 日(月)<br>12:00 |

(注)1.出願および第 2 次入学手続きの提出書類は郵送受付とし、締切日消印有効とします。

2.受験票には、受験番号、集合時間等が記載されています。30 頁の説明に従い、各自で印刷し試験当日に持参してください。

## (2) 出願書類

| No. | 出 願 書 類                                                                                           | 提出区分 | 書 式 等                                                                                                                                                                                                  |                                                                                 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 志願票              | ●    | インターネット出願サイトに登録後、A4サイズで印刷してください。                                                                                                                                                                       |                                                                                 |
| 2   | 出願書類<br>チェックシート  | ●    | 提出書類チェック欄に○を記入し、出願書類に不足が無いよう提出してください。                                                                                                                                                                  |                                                                                 |
| 3   | 志望動機書・<br>修学計画書  | ●    | 自筆記入、鉛筆不可。                                                                                                                                                                                             |                                                                                 |
| 4   | 検定資格取得<br>報告書    | ●    | ・ インターネット出願サイトに登録後、A4サイズで印刷してください。<br>・ 検定資格の取得等が無く登録していない場合でも必ず提出してください。                                                                                                                              |                                                                                 |
| 5   | 活動実績報告書          | ●    | 自筆記入、鉛筆不可。                                                                                                                                                                                             |                                                                                 |
| 6   | 活動実績証明資料                                                                                          | ※    | ・ 検定資格取得報告書または活動実績報告書に記載した実績の証明資料を提出してください。<br>・ 証明資料を提出する場合は、資料に対応する検定資格取得報告書または活動実績報告書の後ろにまとめてクリップ留めして提出してください(A4 サイズ、コピー可)。                                                                         |                                                                                 |
| 7   | 小論文              | ●    | 自筆記入・鉛筆不可(小論文課題は19～21 頁参照)。                                                                                                                                                                            |                                                                                 |
| 8   | 卒業(修了)証明書等<br>または 見込証明書の原本                                                                        | ●    | 出願資格(1)・(2)                                                                                                                                                                                            | 卒業(修了)証明書または見込証明書                                                               |
|     |                                                                                                   |      | 出願資格(3)                                                                                                                                                                                                | 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上、総授業時間が1,700 時間以上)を満たす課程を修了(見込)した者である旨が記載された証明書 |
|     |                                                                                                   |      | 出願資格(4)                                                                                                                                                                                                | 高等学校等の専攻科の課程(修業年限が2年以上、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込)した者である旨が記載された証明書        |
|     |                                                                                                   |      | 出願資格(5)                                                                                                                                                                                                | 在学証明書または在学期間証明書                                                                 |
| 9   | 成績証明書の原本                                                                                          | ●    | ・ 単位修得状況が記載されたものとします。<br>・ 出願資格(3)、(5)により出願する者で出願時に履修中の授業科目がある場合は、成績証明書備考欄にその旨を記載したものまたは授業科目履修証明書(単位数明記)を提出してください。                                                                                     |                                                                                 |
| 10  | 卒業証明書等の日本語訳のコピー<br>成績証明書の日本語訳のコピー                                                                 | ※    | ・ 提出書類8、9が日本語または英語以外で作成された証明書の場合は、日本語訳(コピー)を提出してください。<br>・ 提出する日本語訳は、公証役場等の公的機関または第三者機関(日本語学校等)で、翻訳が正確であると証明を受けた翻訳でなければいけません。<br>・ 第三者機関(日本語学校等)の翻訳の場合は、その学校または団体等による証明(学校や団体名、確認日、責任者名および公印)を受けてください。 |                                                                                 |
| 11  | 在留カードのコピー                                                                                         | ※    | ・ 日本国籍を有さない(外国籍の)者は、必ず在留カードの写し(表面・裏面のコピー)を提出してください。ただし、特定在留カードに限り、マイナンバーが記載された裏面の提出は不要です。                                                                                                              |                                                                                 |
| 12  | 受験上の配慮事項決定通知書<br>(診断書等)                                                                           | ※    | ・ 疾病等により受験および修学に配慮を必要とする場合は提出してください(22 頁参照)。<br>・ 該当者は、出願する前に必ず本学入学センターに相談してください。                                                                                                                      |                                                                                 |

(注) ●印は全員提出してください。※印は該当者のみ提出してください。

インターネット出願登録完了時に印刷する提出書類です。



出願受付期間中にのみ出願登録をすることができます。詳細は23頁を参照してください。



本学 Web サイト

[「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「インターネット出願・学生募集要項」](#)

※本学 Web サイトにて公開している提出書類です。A4 サイズ(縦・片面)で印刷してください。

出願受付期間前に印刷をし、事前に提出書類の記入・準備をすることが可能です。



## 5. 選考方法

提出書類の審査および面接により合否を総合的に判定します。面接は 20 分程度の個人面接とし、3分間程度の自己アピールを含みます。

| 評価方法 | 商経学部 | 総合政策学部 | サービス創造学部 | 人間社会学部 |
|------|------|--------|----------|--------|
| 書類審査 | 40点  | 40点    | 40点      | 40点    |
| 面接審査 | 60点  | 60点    | 60点      | 60点    |
| 合計   | 100点 | 100点   | 100点     | 100点   |



# 第2年次編入学

## 2. 募集人員

| 学 部      | 学 科      | 募集人員 |
|----------|----------|------|
| 商 経 学 部  | 商 学 科    | 若干名  |
|          | 経営学科     |      |
| 総合政策学部   | 経済学科     | 若干名  |
|          | 政策情報学科   |      |
| サービス創造学部 | サービス創造学科 | 若干名  |
| 人間社会学部   | 人間社会学科   | 若干名  |

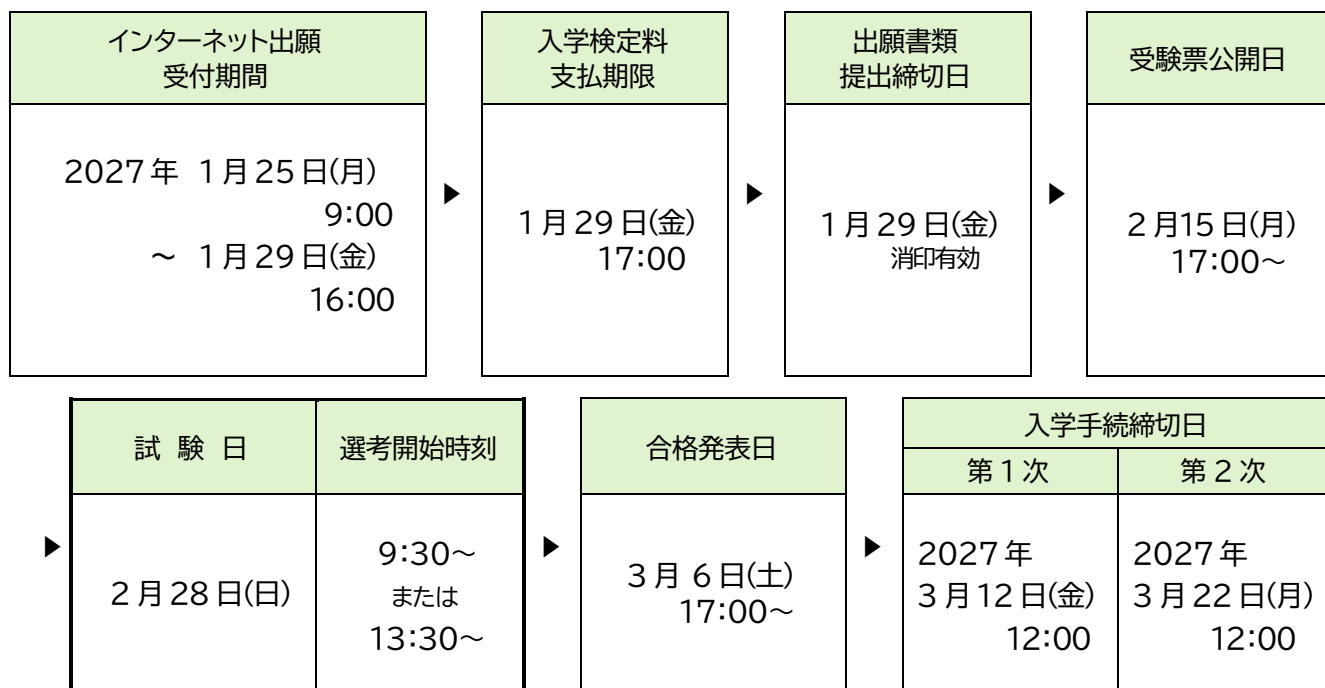
## 3. 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者(学士の学位を有する者)、および 2027年3月までに卒業する見込みの者
- (2) 短期大学、高等専門学校を卒業した者、および 2027年3月までに卒業する見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程で、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上、かつ課程の修了に必要な総授業時間が1,700 時間以上であること)を満たす課程を修了した者(ただし、学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る)、および 2027年3月までに修了する見込みの者
- (4) 高等学校、中等教育学校後期課程および特別支援学校高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者(学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る)、および 2027年3月までに修了する見込みの者
- (5) 修業年限4年以上の大学において1年以上在学し、30単位以上を修得した者、および 2027年3月までに修得する見込みの者

## 4. 出願手続き

### (1) 試験日程等



(注)1.出願および第2次入学手続きの提出書類は郵送受付とし、締切日消印有効とします。

2.受験票には、受験番号、集合時間等が記載されています。30 頁の説明に従い、各自で印刷し試験当日に持参してください。

## (2) 出願書類

| No. | 出 願 書 類                                                                                           | 提出区分 | 書 式 等                                                                                                                                                                                                  |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 志願票              | ●    | インターネット出願サイトに出席登録後、A4サイズで印刷してください。                                                                                                                                                                     |
| 2   | 出願書類<br>チェックシート  | ●    | 提出書類チェック欄に○を記入し、出願書類に不足が無いよう提出してください。                                                                                                                                                                  |
| 3   | 志望動機書・<br>修学計画書  | ●    | 自筆記入、鉛筆不可。                                                                                                                                                                                             |
| 4   | 検定資格取得<br>報告書    | ●    | ・ インターネット出願サイトに出席登録後、A4サイズで印刷してください。<br>・ 検定資格の取得等が無く登録していない場合でも必ず提出してください。                                                                                                                            |
| 5   | 活動実績報告書          | ●    | 自筆記入、鉛筆不可。                                                                                                                                                                                             |
| 6   | 活動実績証明資料                                                                                          | ※    | ・ 検定資格取得報告書または活動実績報告書に記載した実績の証明資料を提出してください。<br>・ 証明資料を提出する場合は、資料に対応する検定資格取得報告書または活動実績報告書の後ろにまとめてクリップ留めして提出してください(A4 サイズ、コピー可)。                                                                         |
| 7   | 小論文              | ●    | 自筆記入・鉛筆不可(小論文課題は19～21 頁参照)。                                                                                                                                                                            |
| 8   | 卒業(修了)証明書等<br>または 見込証明書の原本                                                                        | ●    | 出願資格(1)・(2) 卒業(修了)証明書または見込証明書                                                                                                                                                                          |
|     |                                                                                                   |      | 出願資格(3) 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上、総授業時間が1,700時間以上)を満たす課程を修了(見込)した者である旨が記載された証明書                                                                                                                 |
|     |                                                                                                   |      | 出願資格(4) 高等学校等の専攻科の課程(修業年限が2年以上、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込)した者である旨が記載された証明書                                                                                                                       |
|     |                                                                                                   |      | 出願資格(5) 在学証明書または在学期間証明書                                                                                                                                                                                |
| 9   | 成績証明書の原本                                                                                          | ●    | ・ 単位修得状況が記載されたものとします。<br>・ 出願資格(3)、(5)により出願する者で出願時に履修中の授業科目がある場合は、成績証明書備考欄にその旨を記載したものまたは授業科目履修証明書(単位数明記)を提出してください。                                                                                     |
| 10  | 卒業証明書等の日本語訳のコピー<br>成績証明書の日本語訳のコピー                                                                 | ※    | ・ 提出書類8、9が日本語または英語以外で作成された証明書の場合は、日本語訳(コピー)を提出してください。<br>・ 提出する日本語訳は、公証役場等の公的機関または第三者機関(日本語学校等)で、翻訳が正確であると証明を受けた翻訳でなければいけません。<br>・ 第三者機関(日本語学校等)の翻訳の場合は、その学校または団体等による証明(学校や団体名、確認日、責任者名および公印)を受けてください。 |
| 11  | 在留カードのコピー                                                                                         | ※    | ・ 日本国籍を有さない(外国籍の)者は、必ず在留カードの写し(表面・裏面のコピー)を提出してください。ただし、特定在留カードに限り、マイナンバーが記載された裏面の提出は不要です。                                                                                                              |
| 12  | 受験上の配慮事項決定通知書<br>(診断書等)                                                                           | ※    | ・ 疾病等により受験および修学に配慮を必要とする場合は提出してください(22 頁参照)。<br>・ 該当者は、出願する前に必ず本学入学センターに相談してください。                                                                                                                      |

(注) ●印は全員提出してください。※印は該当者のみ提出してください。



インターネット出願登録完了時に印刷する提出書類です。

出願受付期間中にのみ出願登録をすることができます。詳細は23頁を参照してください。



本学 Web サイト

[「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「インターネット出願・学生募集要項」](#)

※本学 Web サイトにて公開している提出書類です。A4 サイズ(縦・片面)で印刷してください。

出願受付期間前に印刷をし、事前に提出書類の記入・準備をすることが可能です。



## 5. 選考方法

提出書類の審査および面接により合否を総合的に判定します。面接は 20 分程度の個人面接とし、3 分間程度の自己アピールを含みます。

| 評価方法 | 商経学部 | 総合政策学部 | サービス創造学部 | 人間社会学部 |
|------|------|--------|----------|--------|
| 書類審査 | 40点  | 40点    | 40点      | 40点    |
| 面接審査 | 60点  | 60点    | 60点      | 60点    |
| 合計   | 100点 | 100点   | 100点     | 100点   |

共通

## 6. 面接試験会場

千葉商科大学 市川キャンパスでの対面面接(面接控室[集合場所])は、当日学内に掲示します)

※オンライン面接不可

## 7. 小論文課題

志望する学部・学科に出題されている複数の課題から1つ選択し、本学所定の原稿用紙に1,000字程度で記述してください(自筆記入・鉛筆不可)。記述内容を面接で確認することがあります。

なお、参考文献は所定の記入欄に書ききれない場合は別紙に記入してください(様式は任意、Word等のパソコン作成可)。

選択対象でない課題を提出すると、減点もしくは審査対象外となる場合があります。

| 学部     | 小論文課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商<br>経 | 商学科・経営学科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | <p>① 近年、世界中の観光地で訪問客の著しい増加が問題となっています。この現象は「オーバーツーリズム」と呼ばれ、地域社会や自然環境に多くの弊害をもたらしています。ここでは、あなたの住む地域や訪れたことのある観光地などでオーバーツーリズムが起きている具体的な事例を挙げた上で、その問題にどのように対処するべきかを関連する文献・資料やデータを参照しながら論じてください。</p> <p>② 男性は働き、女性は家庭を守るべきといったような「性別に基づく役割分担」に対し、近年、社会全体で見直しが進んでいます。ここでは、あなたが問題意識を持つ「性別に基づく役割分担」の具体的な事例を挙げた上で、そのような役割分担が現代社会において受け入れられるべきか否かを、関連する文献・資料やデータを参照しながら論じてください。</p> |

| 学部   | 小論文課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合政策 | 経済学科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|      | <p>① ここ数年、日本では物価が上昇する一方、賃金の上昇は十分ではなく、その結果、実質賃金が増えにくい傾向にあると言われています。このような経済状況が人々の生活にどのような影響を及ぼしているのかについて、物価上昇に対して賃金の上昇が追いつかない理由や政府の対策などに触れつつ、自らの意見を論じてください。</p> <p>② 近年、日本では人口の減少が問題になっています。一方で、東京への一極集中も進んでいると言われています。こうした、人口の減少と東京への一極集中が社会に与える影響ととるべき施策について、身の回りで見聞きする具体的な事象に触れつつ、自らの意見を論じてください。</p> <p>③ インターネット上では様々な情報が発信されており、生活・学習・仕事等の様々な場面で役に立つ情報が手に入るようになっていきます。一方で、偽情報・誤情報をはじめとする真偽が不確かな情報が流通することが課題となっています。あなたのこれまでの経験、または、新聞・ニュース記事等の内容にもとづいて、真偽が不確かな情報の事例を紹介してください。そして、真偽が不確かな情報に接した場合にとるべき対処方法を論じてください。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
|      | 政策情報学科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|      | <p>① あなたが居住する「まち」が抱えている課題を一つ考えてみましょう。その課題について、可能な範囲で自治体等のデータを参考にしたり、身の回りを観察しながら原因を分析し、解決に向けた具体的な企画を提案してください。提案では、ターゲットや実施方法、期待される効果に加え、実現のしやすさについても記述してください。また、同様の地域課題に対する既存の事例を調べ、それらとの違いや、あなたが自身の企画で工夫したい点を説明してください。</p> <p>※ あなたが紹介する「まち」の正式名称(千葉県〇〇市、東京都〇〇区、埼玉県〇〇郡〇〇町など)を小論文の中で明記してください。</p> <p>② あなたが居住する「まち」の名所や名産品・特産品は何でしょうか。また、それらを利活用した観光や地場産業といった、経済振興はどのように展開されていますか。他方で、その名所や名産品・特産品が抱える課題には何があるでしょうか。その課題の解決策について、自治体が展開している施策と関連させて、あなたの考えを具体的に述べてください。</p> <p>※ あなたが紹介する「まち」の正式名称(千葉県〇〇市、東京都〇〇区、埼玉県〇〇郡〇〇町など)を小論文の中で明記してください。</p> <p>③ インターネット上では様々な情報が発信されており、生活・学習・仕事等の様々な場面で役に立つ情報が手に入るようになっていきます。一方で、偽情報・誤情報をはじめとする真偽が不確かな情報が流通することが課題となっています。あなたのこれまでの経験、または、新聞・ニュース記事等の内容にもとづいて、真偽が不確かな情報の事例を紹介してください。そして、真偽が不確かな情報に接した場合にとるべき対処方法を論じてください。</p> |

| 学部     | 小論文課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| サービス創造 | <p>① 次の枠内の文章を参考にして、記述してください。</p> <div data-bbox="256 248 1358 517" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>サービス創造とは、便利さ、快適さ、楽しさなどを生み出し、人や社会の幸福に貢献する活動です。私たちの暮らしは、多様なサービス業によって支えられており、現代はまさにサービス社会だと言えます。</p> <p>サービス社会では、サービス業界に限らず、ビジネスに関するすべての活動にサービス創造が求められており、その成功はサービス創造の視点や発想の優劣に大きく関わっています。</p> </div> <p>サービスは、私たちの生活と深くかかわっています。商業施設(コンビニエンスストア、スーパーマーケット、専門店、デパート、ショッピングモールなど)、スポーツ施設(プロ野球の球場、Jリーグのスタジアム、スポーツクラブなど)、宿泊施設(旅館、ホテルなど)、交通機関(飛行機、鉄道、バス、タクシーなど)、通信機器(パソコン、インターネット、携帯電話など)、テーマパークなど、利用した経験に基づき、受けたサービスの内容、そのサービスに対する意見・感想、新たな提案について自由に述べてください。</p> <p>なお、どのようなサービスを取り上げるかは自由であり(上に例示されていないサービスでも可)、上に挙げたすべてのサービスについて述べる必要はありません。</p> |
| 人間社会   | <p>① 今日、「地球温暖化(Global Warming)」の時代は終わり、「地球沸騰化(Global Boiling)」の時代がやってきたとも言われています。一方、世界で 2050 年温室効果ガス排出実質ゼロを目指す動きが活発化しています。人間社会を構成する家計・企業・政府の各部門は、その実現のためにそれぞれどのような対策を取る必要があるでしょうか。あなたの考えを具体的に述べてください。</p> <p>② 観光を通じた地域活性化は、多くの自治体にとって重要な政策課題となっていますが、その一方で、観光客の集中による環境負荷や地域住民との摩擦といったオーバーツーリズムの問題なども指摘されています。観光による地域活性化を持続可能な形で実現するには何が必要か、あなたの考えを具体的に述べてください。</p> <p>③ 近年、伝統行事や催し物などを通じた地域における人々のつながりが希薄になりつつあります。地域において住民に繋がりがあることの重要性を具体的な例を挙げて説明し、地域で人々がつながる方法について提案してください。</p>                                                                                                                                                                                |



## 8. 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備のあるものや、出願受付締切後の消印で到着した書類は、受理できません。
- (2) 入学検定料支払い後の志望学部・学科の変更はできません。
- (3) 一度受理した出願書類や納入手続きの完了した入学検定料は原則、返還しません。ただし、一定の条件を満たす場合は、入学検定料を返還します(28 頁「(3)③ 入学検定料の返還請求」参照)。
- (4) 自然災害・事故等の不測の事態により、入学試験日程の変更等の緊急措置をとる場合があります。入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイトおよびマイページ内でお知らせしていますので、確認してください。
- (5) **受験および修学における配慮について**

本学の編入学試験では、「千葉商科大学における障がいのある学生の支援に関する指針」に基づき、障がいや疾病、怪我などの理由に応じて、受験時に必要な配慮を行います。

配慮が必要な方は、以下の注意事項を確認のうえ、申し出てください。障がい等の状況に応じた配慮を検討しますが、すべての希望に添えるとは限りません。

### <注意事項>

- ① オープンキャンパス、電話等で事前に相談のうえ、出願受付開始2週間前までに申し出てください。期限までに申請がなかった場合、受験時に必要な配慮を行うことができない場合があります。
- ② 希望する受験および修学上の支援内容については、入学センター(047-373-9701)まで連絡してください。
- ③ 障害者手帳や診断書等の障がい、症状について把握できる資料の提出を求める場合があります。なお、提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否判定とは一切関係ありません。
- ④ 申請後、本学にて検討し「受験上の配慮事項決定通知書」をメールでお送りします。出願時は印刷した「受験上の配慮事項決定通知書」を他の出願書類と併せて同封のうえ、出願期間内に郵送してください。
- ⑤ 申請内容に関わる情報については、本人または保護者同意のもと、入学センターおよび学修支援課等の関連部署間で共有し、受験上や編入学後の配慮に関する検討、準備等のために活用することがあります。

### <申請方法>

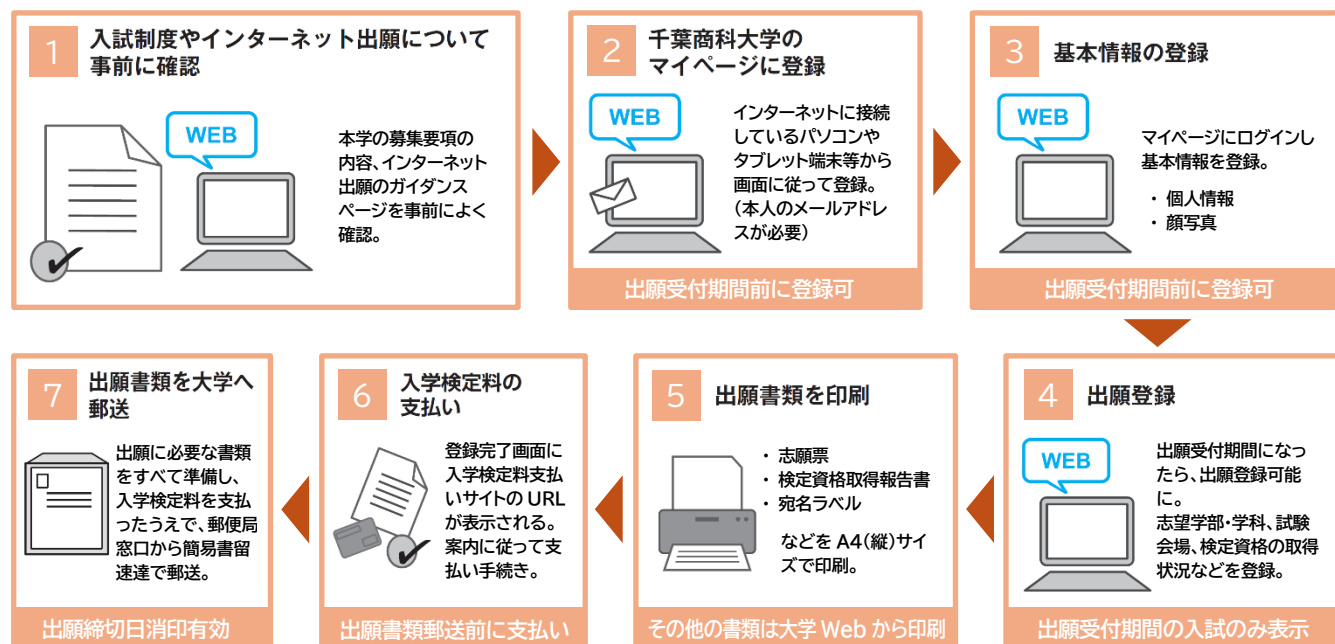
申請方法等詳細は、下記本学Webサイトを参照してください。

[「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「各種届出」→「障がい支援、受験上の配慮について」](#)



## 9. インターネット出願

### (1) インターネット出願の流れ



#### STEP1 入試制度やインターネット出願について事前に確認

マイページ登録を行う前に、必ず募集要項などで入試制度やインターネット出願について確認してください。

##### 事前に準備をするもの

- ① インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末など
- ② 利用可能なメールアドレス(携帯電話キャリアのアドレスは不可)
  - ・ 出願内容について大学から確認を行う場合がありますので、必ず出願者本人のメールアドレスを準備してください。
  - ・ 大学から携帯電話キャリアのメールアドレスへ送信することはできません。
  - ・ ドメイン受信設定をしている場合は、以下2つのドメインからメールを受信できるように設定してください。
    - ✓千葉商科大学からの配信：@cuc.ac.jp
    - ✓インターネット出願システムからの配信：@52school.com
  - ・ マイページ登録時に「マイページ登録完了のお知らせ」、出願登録完了後に「インターネット出願完了のお知らせ」、入学検定料支払い完了後に「入金確認メール」が届きます。
- ③ A4サイズ用の紙が印刷可能な環境を確認(自宅プリンター、ネットプリント、在籍中の学校の先生に相談など)
  - ・ 出願時、志願票などの印刷に使用します。

##### ガイダンスページの確認

インターネット出願のガイダンスページにアクセスし、登録方法やFAQを必ず確認してください。

インターネット出願サイト: <https://www.guide.52school.com/guidance/net-cuc/>



#### STEP2 千葉商科大学のマイページに登録(2026年8月末 公開予定)

##### インターネット出願のページから登録

STEP1 で確認をした、インターネット出願サイトのガイダンスページ上部「マイページ」ボタンをクリックし、仮登録をしてください。仮登録で入力したメールアドレスに、マイページ本登録用の URL が届きます。案内に従って、マイページの本登録を行ってください。

2027年度入試のマイページ登録開始は、2026年8月末を予定しています。公開日は大学 Web サイトでお知らせします。なお、マイページは出願受付期間前に登録することが可能です。時間の余裕をもって出願より前に登録することを推奨します。

### STEP3 基本情報の登録(出願受付期間前に登録・変更可能)

- ① マイページにログインし、画面の指示に従って「基本情報」を登録してください。
- ② 「基本情報」は、出願受付期間より前に登録することが可能です。
- ③ 「基本情報」メニューへの入力時間は最大30分間です。30分以上継続して入力操作することはできません。30分より長く時間がかかってしまいそうな場合には「登録」ボタンを押し、何度かに分けて登録を行ってください。
- ④ 「基本情報」に登録した内容は変更・更新可能ですが、出願登録完了後の変更は出願情報には反映されません。出願登録完了後に変更が必要な場合は、28 頁「(2)登録内容に誤りがある場合の対応」を参照してください。

#### 【基本情報の登録1】氏名や住所などの個人情報

- ① 出願者本人の個人情報を登録してください。
- ② システムの都合上、入力が出来ない漢字があります。その場合は代替文字や略字等で入力してください。

※代替文字の例

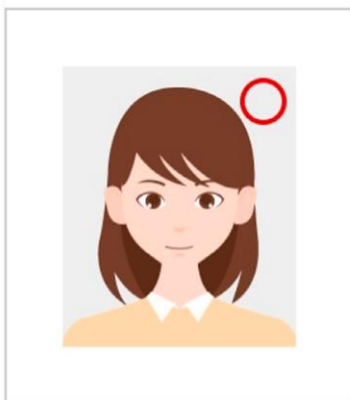
高 → 高、廣 → 廣、崎 → 崎、角 → 角、槁 → 橋、吉 → 吉、瀬 → 瀬

- ③ 登録した内容は、出願時に使用する個人情報となります。

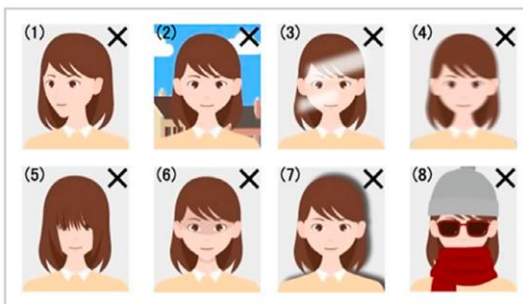
#### 【基本情報の登録2】証明写真の登録

- ① 出願登録の前に顔写真データを準備のうえ、登録を行ってください。
- ② 証明写真(顔写真)の撮影とデータ保存  
下記③. 顔写真の条件および例を参照し、**推奨** 証明写真機(写真データの取得ができるもの)、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラなどで顔写真を撮影してください。撮影時には「白／青／グレーを基調とした無地の壁」を背にして撮影をしてください。
- ③ 顔写真の条件
  - ・直近3ヶ月以内に撮影したもの
  - ・カラー写真のみ(白黒不可)、上半身・正面、無帽、背景なし
  - ・アップロードが可能なファイルは jpg のみ、画像容量は 100KB 以上、5MB 以下
  - ・顔が小さすぎないもの
  - ・大きすぎて顔や頭の一部分が切れていないもの

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



- (1) 正面を向いていない(顔が横向き等)
- (2) 無背景でない(風景や柄が写っている)
- (3) 照明が反射している(顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない)
- (4) ピンボケや手ブレにより不鮮明
- (5) 前髪が長すぎて目元が見えない
- (6) 顔に影がある
- (7) 背景に影が写っている
- (8) マフラーやスカーフで輪郭が隠れている
- (9) 証明写真などすでに印刷された顔写真をさらに撮影した画像

#### ④ 顔写真を登録

アップロード時に写真の拡大・縮小・範囲指定が行えますので、画面に従ってサイズを調整してください。

## STEP4-1 出願登録(出願受付期間に該当する入試のみが表示されます)

- ① 出願する入試種別、出願区分、志望学部・学科を選択し、受験に必要な情報を手順に従って入力してください。
- ② 「緊急連絡先」は入試当日の緊急時に連絡がとれる、出願者本人以外の連絡先を登録してください。  
また、入試当日以外にも出願内容の確認等のため大学から連絡する場合があります。
- ③ 「検定資格取得報告」メニューにて、出願者が取得した検定試験や資格の情報を登録してください。
  - a. 各資格区分から該当する検定・資格をプルダウン選択し、登録してください。スコア入力が必要な検定資格は、必ずスコアも入力してください(選択可能な検定・資格一覧は入力画面にて確認してください)。
  - b. 保有する検定・資格が選択肢に無い場合は、「その他」を選択してください。
  - c. 「検定資格取得報告」に登録した内容は、出願時に提出する書類「検定資格取得報告書」として[出願登録]の完了画面から印刷できます。なお、検定・資格の取得等が無い場合には、入力の必要はありませんが、出願の際には「検定資格取得報告書」を必ず提出してください。

### 検定資格情報の登録から提出のイメージ

**検定資格取得内容登録画面の一部**

登録した内容は、出願登録完了時に印刷する「検定資格取得報告書」に印字される。

証明資料を提出する際は、手書きでチェックを入れる。

各区分、保有資格を最大3つまで選択可能。

英語検定試験で、スコア入力が必要なものは必ずスコア欄にスコアを入力する。

検定資格の保有を証明する資料を提出(提出方法は31頁)。

※登録画面および出力書類はイメージです。表示内容が変更になる場合があります。

- ④ 「入力内容の確認」画面において、登録内容に誤りがないか確認してください。登録完了後は内容の変更を一切行えません。
- ⑤ 誤った内容で登録してしまった場合は、入学検定料支払い前(クレジットカード決済前)であれば、再度登録し直してください。入学検定料支払い後(クレジットカード決済後)は、登録した情報の内容は一切変更できません(28 頁参照)。

## STEP4-2 入学検定料の支払い方法を確認

- ① 支払い方法を確認してください。支払い可能な取り扱い機関は、下記を参照してください。
- ② 北海道および沖縄県の在住者は、入学検定料が免除となります。対象者は STEP6-1 での支払いを行わず、そのまま出願してください。

下記より支払い方法を選択してください。

支払い可能な取り扱い機関

|                                                                                   |                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| <b>■ コンビニエンスストア</b><br>セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート | <b>■ ATM (Pay-easy 利用可能な ATM)</b><br>ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行など    |
| <b>■ クレジットカード</b><br>VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club             | <b>■ ネットバンキング</b><br>楽天銀行、auじぶん銀行、住信SBIネット銀行、その他 都市銀行、地方銀行、労働金庫、信用金庫、信用組合など |

### <クレジットカード支払いの注意点>

入学検定料の支払いを行う際の安全性を高めるため、クレジットカード決済において「本人認証サービス(3D セキュア)」が導入されています。

各カード発行会社の判断により本人認証が必要とされる場合は、パスワード認証、ワンタイムパスワード認証、端末認証などによる追加認証が決済時に必要となります。

認証手順が増えることにより、クレジットカード決済に時間を要する可能性があるため、入学検定料は期限内に余裕を持って支払いを行ってください。

### 【本人認証が必要な場合の流れ】



※3D セキュアの本人認証画面や入力画面は、カード発行会社により異なります。3D セキュアへの対応状況、設定・認証の方法など詳細は、利用中のカード会社に問い合わせください。

## STEP5 出願書類の印刷

出願完了画面にて志願票、検定資格取得報告書、宛名ラベルをA4(縦)サイズで印刷してください(出願登録完了後、マイページ内の「出願確認」メニューからも印刷が可能です)。

ネット  
出願

マイページログイン URL: <https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja>



### 【注意事項】

スマートフォンやタブレットで出願書類のダウンロードを行った際、ダウンロードボタンを押下しても、印刷用 PDF ファイルが自動的に表示されない場合があります。その際は、端末でダウンロードファイルが保存されるフォルダを確認してください(ファイルの保存先は機種や設定によって異なります)。



#### STEP6-1 入学検定料の支払い(代行業者の専用サイトへ移動)

- ① 各支払い方法の手順を確認し、支払いに必要な番号を印刷またはメモのうえ、所定の期日までに入学検定料の支払いを行ってください。出願情報を登録、書類を提出していても、入学検定料納入の確認ができない場合は出願受付は行いません。ただし、入学検定料免除対象者(北海道および沖縄県の在住者等)は支払い不要です。
- ② 入学検定料支払い可能期間を過ぎた場合、システムの都合上、支払い手続きが行えなくなります。
- ③ 支払いの際に受け取った領収書、レシート等は試験終了まで保管してください(提出の必要はありません)。なお、本学での領収書発行は行いません。
- ④ 支払い完了後、志願票の右下「入学検定料支払い方法チェック欄」にチェックを入れ、支払日を記入してください。
- ⑤ 入学検定料支払い後は、出願登録の内容を一切変更できません(誤った内容で登録してしまった場合は、28 頁「(2) 登録内容に誤りがある場合の対応」参照)。

#### STEP6-2 出願確認

出願内容の確認や志願票等提出書類の再印刷、入学検定料支払い方法の確認が行えます。

#### STEP7 出願書類を郵送

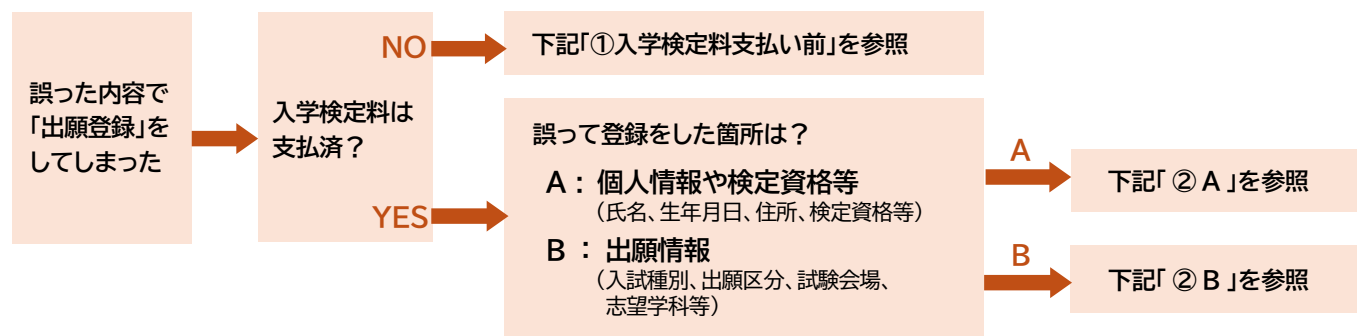
必要な出願書類をすべて準備し、市販の角型 2 号封筒に宛名ラベルを貼付け、所定の期日までに郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。

#### 出願完了 受験票を確認・印刷 ※所定の受験票公開期間のみ(30 頁参照)

出願完了後、受験票公開期間になると受験票の確認および印刷が可能になります。なお、大学から受験票の郵送は行いません。

## (2) 登録内容に誤りがある場合の対応

入学検定料の支払い状況や誤りの項目によって対応が異なります。



### ① 入学検定料支払い前

- 入学検定料を支払う前の場合は、STEP4-1 から、あらためて正しい内容で「出願登録」をし直し、正しい内容の志願票整理番号で入学検定料の支払いを行ってください。
- 誤って登録してしまった情報は、そのまま構いません(書類を提出しなければ出願した事にはなりませんのでキャンセル処理等は不要です)。

### ② 入学検定料支払い後

- 入学検定料支払い後の場合は、登録内容の変更を一切行えません。
- 以下、登録を誤った箇所を確認のうえ、対応してください。

#### A 個人情報や資格・検定情報の登録を誤った場合

- 印刷した志願票や検定資格取得報告書に、赤ボールペンで直接加筆してください。誤った箇所に二重の取り消し線を書き、すぐ近くの余白に正しい情報を追記してください。  
(例: 氏名、生年月日、出身校名、住所などの個人情報、資格・検定の登録ミスなど)

#### B 入試種別、出願区分、志望学部・学科、試験会場の登録を誤った場合

- 登録内容の変更、訂正は一切行えません。再度、STEP4-1 から、あらためて正しい内容で「出願登録」をし直し、正しい内容の志願票整理番号で入学検定料の支払いを行ってください。
- 誤った登録情報は削除できないため、そのままにしてください。誤って登録、支払いをした分の入学検定料返還請求については、下記「(3)③ 入学検定料の返還請求」を参照してください。

## (3) 入学検定料について

### ① 入学検定料

35,000 円 ※入学検定料の他に、サービス利用料がかかります。

### ② 入学検定料の免除

- 北海道および沖縄県の在住者は、入学検定料を免除します。  
(入学検定料の支払いを行わずに、出願書類を郵送してください)
- 大規模自然災害により学費負担者が被災した受験者は、経済的支援(入学検定料免除)の対象となる場合があります。  
(37頁または本学 Web サイト参照)

### ③ 入学検定料の返還請求

出願が受理されている場合、本学を受験しなくても払込み済の入学検定料は返還しません。

以下の場合のみ、入学検定料を返還します。本学 Web サイトを確認し、返還請求を行ってください。

- 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった)
- 出願書類を提出したが、出願資格が無いことや締切日を過ぎて郵送した等により、出願が受理されなかった場合
- 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに症状が軽快していなかった場合や、試験日当日に発熱(37.5度以上)・咳等の症状があったため、本学試験日に受験できなかった場合
- ※試験当日までに本学へ連絡をしていることと、医師の診断書(治療期間が明記されているもの)等の提出が必要です。
- 北海道および沖縄県に在住している等、入学検定料の免除者であったが、入学検定料を払い込んでしまった場合

#### 返還請求の方法

[「本学で学びたい方」](#)→[「CUC-NAVI」](#)→[「入試案内」](#)→[「入試の流れ」](#)→[「各種届出」](#)→[「入学検定料の返還について」](#)



上記の本学 Web サイトから返還に関する個人情報を登録のうえ、申請を行ってください。

返還の手続き方法および返還時期等の詳細は、同 Web サイトで確認してください。

#### (4) マイページ操作画面



#### 〈インターネット出願の操作方法に関すること〉

出願受付操作サポート窓口

TEL:0120-752-257

〔受付時間〕9:00~20:00(8/1 ~3/31)  
(12/29 ~ 1/3 除く)

#### 〈入試に関する問い合わせ〉

千葉商科大学入学センター

TEL:047-373-9701

〔受付時間〕9:00~17:00  
(年末年始(12/26~1/5)、土・日・祝日を除く)



## 10. オンライン受験票

インターネット出願への登録および出願書類が受理されると、受験票公開期間に受験票の印刷が行えるようになります。下記の受験票公開期間内にマイページへログインのうえ、「オンライン受験票」メニューを確認し、受験票を A4サイズ の用紙に縦向きで印刷してください。大学から受験票の発送は行いませんので注意してください。

また、試験当日には受験票を折り線部分で折ったうえで、必ず持参してください。

### ■ オンライン受験票公開期間

| 受験票公開開始                  | 受験票公開終了                  |
|--------------------------|--------------------------|
| 2027年<br>2月15日(月)17:00から | 2027年<br>3月22日(月)17:00まで |

### ■ 受験票見本(A4用紙に縦向きで印刷)

試験日、当日受験番号、試験会場を必ず確認してください。

試験当日の集合時間、試験時間などを確認してください。

出願している入試名、学科および可否確認用の受験番号が表示されます。

備考欄には、当日のお知らせなどが掲載される場合があります。

受験にあたっての注意事項が記載されています。試験ごとに注意点が異なりますので事前によく読んでください。  
また入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイトおよびインターネット出願マイページにてお知らせしていますので必ず確認してください。

試験当日は、点線に沿って4つ折りにし、持参してください。

2027年度 千葉商科大学 受験票

|        |           |           |             |
|--------|-----------|-----------|-------------|
| 試験日    | 2月28日(日)  | 試験時間      | 8:30        |
| 当日受験番号 | 418266    | 試験会場      | 9:15        |
| 名前     | 千葉 ショウタ   | 試験科目      | 面接試験        |
| 氏名     | 千葉 商太     | 面接試験      | 9:30 ~      |
| 所属     | 本学        | 出願情報詳細    | 志望学科 総合受験科目 |
| 入試名    | 第3年次編入学試験 | 第3年次編入学試験 | 否 418266    |
| 備考欄    |           |           |             |

※ 試験当日はの面を正しく折って持ち参る。

**注意事項**

1. 受験票は試験当日に1枚発行されます。上記に記載の「試験日」を境に、4枚折りにし、点線に沿って4つ折りにし、試験当日に持参してください。
2. 試験当日、「試験会場開場時間」までは、試験場の建物に入ることできません。開場時間より早く到着した場合は、会場内に掲示されている案内に従い、待合室で待機してください。
3. 試験当日は上記「試験会場開場時間」までに試験会場に入り、本学「当日受験番号」欄に記載された受験番号の欄に署名してください。
4. 試験場の入場券は、必ず受験票を提示してください。
5. 受験票は常に携帯し、面接室及び試験室では机の上に、「当日受験番号」が見えるように置いてください。
6. 集合は試験時間に応じて各自で到着してください。
7. 最寄駅での「受験上の注意」を事前に確認してください。
8. 交通機関の混雑等により試験開始時間の遅り下がりを行う場合は、試験当日にマイページでお知らせしますので、必ず確認してください(下記の二次元コードからマイページにログイン)。

＜本学試験会場での受験を予定されている方へ＞  
千葉商科大学 入試センター試験  
〒272-8512 千葉県市川市臨海台1-3-1  
千葉商科大学 入試センター試験  
TEL: 047-373-9771 (受付時間 平日9:00~17:00)

2027年度 千葉商科大学 受験票

|        |           |
|--------|-----------|
| 試験日    | 2月28日(日)  |
| 当日受験番号 | 418266    |
| 名前     | 千葉 ショウタ   |
| 氏名     | 千葉 商太     |
| 所属     | 本学        |
| 入試名    | 第3年次編入学試験 |
| 備考欄    |           |

※受験票の記載内容は変更になる場合があります。

### <受験票がダウンロードできない場合>

スマートフォンやタブレット端末でダウンロードした場合は、データが自動的に保存されますので保存先を確認してください。データを開いても内容が確認できない場合は、パソコンなど別の環境で再度ダウンロードすることを試みてください。

## 11. 検定資格・クラブ活動等の活動実績証明資料について

活動実績証明資料は、以下の要領で作成し、他の提出書類と同封のうえ提出してください。なお、提出できるのは中学校卒業後から出願に至るまでの期間の活動実績に限ります。

### (1) 資格・検定(取得済みの資格のみ)

- ① 資格・検定は最上位の合格証または合格証明書を提出してください(コピー可・用紙は A4 サイズ)。
- ② 資格・検定は、**2024年4月1日から出願時まで**に取得したものを有効とします(ただし、スコアに有効期限があるものは有効期限内であること)。
- ③ 資格・検定は、CBT 方式で受検した場合も有効とします。
- ④ 英語資格のうち、成績が得点・スコアで評価されるもの(TOEIC®等)は、公式認定書、スコアレポート等を提出してください(コピー可)。
- ⑤ 証明資料は和文・英文どちらでもかまいません。
- ⑥ デジタル証明書を印刷したものも提出可能です。在籍する公的機関において、余白に「**原本(デジタル証明書)と相違ありません**」と記載し、証明印があるものを正式な証明書として認めます。

### 【証明書の例】

#### 実用英語技能検定(英検)

- ① 合格証明書(S-CBT も可)
- ② CSE スコア証明書
- ③ 個人成績表

※和文・英文のどちらでも可  
※写真の有無どちらでも可

①



②



③



英検証明書は4技能対応した試験とし、CSE スコアが確認できるものとする。

出典:「公益財団法人 日本英語検定協会 Web サイト」より

#### GTEC®

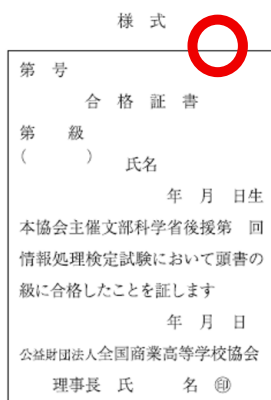
- ・オフィシャルスコア証明書であること
- ・検定版(Basic/Advanced)または CBT タイプのいずれかであること
- ・生徒用帳票は不可
- ・アセスメント版は不可(オフィシャルスコア証明書が発行されないため)



「GTEC」は株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

#### 情報処理検定 (全商協会主催)

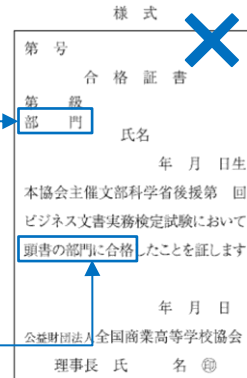
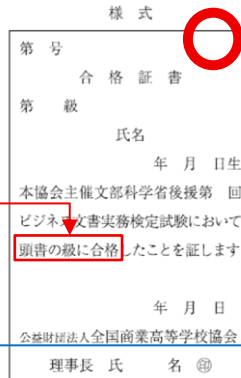
- ・ビジネス情報またはプログラミングのいずれかに合格していれば可。



#### ビジネス文書 実務検定試験 (全商協会主催)

ビジネス文書部門と  
速度部門の両方合格  
＝級に合格のため可。

一方の部門のみの合格は不可。



※1 様式は変更になる場合があります。

※2 一方の部門のみの合格の場合、検定資格情報の登録対象にはならないが、活動実績資料として提出することは可。

## (2) 生徒会・委員会活動、学内活動等

- ① 生徒会長や委員長等の任命状はA4サイズにコピーして提出してください。
- ② その他、生徒会・委員会活動の活動実績がある場合は、「(3)部活動等」と同じ形式で提出してください。  
学校通信、Web サイトに掲載された記事等のコピー(A4サイズ)も可とします。

## (3) 部活・クラブ活動等(文化・芸術、スポーツ、アカデミック、ボランティア、高大連携などの活動)

- ・ 証明資料は、氏名、活動内容、実績が確認できるものとしします。
- ・ すべて A4 サイズに印刷、または A4 サイズ用紙に貼り付けて提出してください。

〈大会出場等の証明資料を提出する場合〉  
氏名、大会名、開催日、結果(賞・順位等)が記載されていること

△ 新聞や Web 記事の場合は上記に加えて、掲載(発行)年月日や URL 等の掲載元の記載があること  
※ DVD・USB メモリー等を提出する場合は、内容を簡潔に説明した文書(A4 サイズ・書式自由)や印刷できる資料(あれば)をあわせて提出してください。

### 【証明資料の参考例】

- ・ 賞状(コピー可)
- ・ トーナメント表
- ・ メンバー表
- ・ 新聞、雑誌、パンフレット
- ・ Web 記事(主催団体・連盟等の公式サイトに掲載されたもの)の印刷物

※ 賞状とメンバー表など、複数の資料で1つの活動実績を証明することも可能です。

### 【ボランティアについて】

#### 〈対象となる活動〉

公的な団体、もしくはそれに準ずる団体(学校・自治体・NPO 法人等が主催または認定した団体)に所属しての活動、あるいは上記団体から認定を受けた活動であること

#### 〈活動例〉

- ・ 学校内ボランティア部
- ・ 自治会・町内会での活動
- ・ 市民活動団体でのボランティアなど

## (4) 研究活動で取り組んだテーマ等

取り組んだ研究活動の内容やテーマがわかるもの(発表資料、レポートのコピー、活動写真など)を A4 サイズに印刷し、提出してください。「(3)部活・クラブ活動等」と同じ形式で提出してください。

## (5) 留学・海外経験(留学、海外のコンクール、国内開催の海外交流イベントなど)

「(3)部活・クラブ活動等」と同じ形式で提出してください。

## (6) その他の活動

(1)～(5)に当てはまらない活動がある場合も、「(3)部活・クラブ活動等」と同じ形式で提出してください。

## (7) 証明資料を提出できない場合

### 【対応方法】

#### (1) 活動を証明する資料が手元に無い

賞状や公式な証明書がない場合でも、卒業または在籍している学校等で証明を受けた書類を提出すれば可とします。

#### 〈提出書類の例〉

- ・ A4 サイズ、書式自由
- ・ 活動内容に相違がないことを証明する文書
- ・ 卒業または在籍する学校等で担当の先生などに確認日、氏名の記入、押印をもらってください。

※ 大会の賞状(コピー可)とメンバー表等、複数枚の証明資料で1つの活動実績を証明することも可能です。

### (資料の作成例①)

|                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 証明書                     |                |
| 以下記載の活動内容に相違ないことを証明します。 |                |
| 開催日                     | 2026年〇月〇日      |
| 大会名                     | 2026年度第〇回〇〇〇大会 |
| 実 績                     | 第2位            |
| 氏 名                     | 〇〇 〇〇 (出席者氏名)  |
| 2026年〇月〇日               |                |
| 〇〇高等学校                  | 〇〇(記入者) 印      |

#### (2) 検定・資格の証明書が間に合わない

- ・ Web 上で合格の確認はできているが、紙の証明書が発行されていない。

- ・ 成績が Web サイトでしか確認できない。

このような場合は、Web 試験結果を印刷したもので提出できます。



パソコン画面で、受検した検定試験の Web サイトから結果を閲覧する。

検定名、氏名、成績(スコア)等が印刷面に収まっているか確認したうえで、A4 サイズの用紙に印刷する。

### (資料の作成例②)

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 〇〇検定      |                  |
| 氏 名       | 〇〇 〇〇            |
| スコア       | 〇〇点              |
| 上記を証明します。 |                  |
| 2026年〇月〇日 | 〇〇高等学校 〇〇(記入者) 印 |

卒業または在籍する学校等において、書類の確認日、確認署名および押印をもらう必要があります。印刷した書類の余白に記入してもらってください。

## 12. 受験上の注意

### (1) 試験前日まで

- ① 30 頁の説明に従い、A4 サイズの用紙に受験票を印刷しておいてください。
- ② 自然災害や停電、火災といった不測の事態により試験日程の変更等の緊急措置をとる場合があります。入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイト(<https://www.cuc.ac.jp/>)およびマイページ「お知らせ」に掲載しますので、必ず最新情報を確認してください。
- ③ 受験を取りやめる場合は、必ず事前に本学入学センター(047-373-9701)まで連絡をお願いします。

### (2) 試験当日

#### 【試験会場について】

- ① 千葉商科大学市川キャンパスの試験当日の開門は8時30分です。
- ② 試験場への出入りの際は、受験票を提示してください。
- ③ 面接控室では、机に貼ってある受験番号と受験票記載の当日受験番号が同じであることを確認して着席し、当日受験番号が見えるようにして受験票を机の上に置いてください。
- ④ 試験場内は全面禁煙です。喫煙は指定された場所をお願いします。
- ⑤ 受験者の付き添いの方は試験場内には入れません。また、付き添いの方の控室はありません。

#### 【交通手段、遅刻の取り扱い等について】

- ① 集合時間までに試験場へ入れるよう、時間に余裕をもって試験会場に到着してください。
- ② 試験会場へは公共の交通機関を利用してください。自動車・バイク・自転車等での来校はできません。近隣の通行の妨げとなりますので、自動車での送迎も控えてください。
- ③ 交通機関の遅延等により集合時間に間に合わない場合は、本学入学センター(047-373-9701)へ連絡してください。
- ④ 交通機関の遅延等により試験開始時刻の繰り下げを行う場合があります。試験当日、マイページの「お知らせ」に掲載しますので、確認してください。
- ⑤ 交通機関の遅延等を除く本人都合の遅刻は、集合時間から15分以内とします。本人都合により遅刻限度時間を過ぎて到着した場合、欠席扱いとなります。

#### 【当日の持ち物について】

- ① 30 頁の説明に従って事前に各自で印刷した受験票を、持参してください。当日、受験票を忘れた場合は、試験場入口の係員に申し出てください。
- ② 上履きは必要ありません。

#### 【試験時間中について】

- ① 受験票は常に携帯し、面接控室では机の上に置いてください。
- ② 試験中の途中退室は原則認めません。体調不良・トイレ等やむを得ない場合は、面接者または係員に申し出てください。
- ③ 面接控室および面接室では携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類の電源を切り、カバンにしまってください。これらを時計として使用することは認めません。  
※上記に違反した場合は、不正行為と判断されることがあります。
- ④ 試験終了後は、受験票および所持品をすべて持って退室してください。

### (3) その他

#### 【体調不良について】

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに症状が軽快していない者や、試験日当日に発熱(37.5 度以上)・咳等の症状がある者には、入学検定料の返還を認めます。その際は当日の受験を控え、本学入学センター(TEL 047-373-9701)へ必ず連絡をしてください。なお、入学検定料返還の可否判断のため、診断書等の提出が必要です。



### 【不正行為について】

試験実施の公正性を確保するため、本学では出願から試験実施、合否判定に至るまで、不正行為に対して厳正に対処します。

試験中の以下の行為は、不正行為と判断され、当該試験は無効となります。

また、状況により当該年度における本学のすべての入学者選抜の成績を無効とすることがあります。

- ① 面接者の指示に従わない。
- ② 他の受験者の迷惑となる行為。
- ③ 面接試験においてメモ等を確認しながら回答する。
- ④ カンニングペーパーの使用、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤホン等を、身に付けていたり手に持っていたりするなど、機器を操作していると疑われる行為。
- ⑤ その他、試験における公平性を損なう行為と面接者が判断した場合。

### 【出願書類等に関する不正】

次の行為は不正行為とみなすことがあります。

- ① 出願書類・入力内容に虚偽の記載を行うこと。
- ② 本人以外が作成した書類を本人作成として提出すること。
- ③ 本人以外の写真や情報を使用すること。
- ④ 提出書類の内容について、面接等において合理的に説明できない場合。

### 【不正行為への対応】

不正行為またはその疑いがある場合には、面接者等が受験の中止や退室を指示することがあります。

また、必要に応じて事情の確認を行います。

### 【その他】

不正行為の内容に応じて、関係機関への報告や警察への届出等の対応を行う場合があります。

### 【入学者選抜における生成系 AI 利用の注意喚起について】

入学者選抜に関する、生成系 AI 利用の注意事項を踏まえて、出願書類等の作成を行うようお願いします。

- ① 生成系 AI は、まだ発展途上の技術であり、不正確な情報を生成することがあります。また、生成された文章等を利用することが個人情報や機密情報の漏洩、著作権を侵害する可能性もあります。
- ② 生成系 AI に入力した情報がシステムに蓄積され、他の人の回答に影響を与える可能性があるとして指摘されています。従って、個人情報や機密情報については、絶対に入力しないでください。
- ③ 入学者選抜では、アドミッション・ポリシーに則り、出願書類等を用いて選抜します。選抜における課題の目的を理解したうえで、不正が疑われることのないよう、自らの責任において十分に考え作成した書類を提出してください。
- ④ 提出資料については、面接等において、記載内容を確認することがあります。

※上記に反し、出願書類等について不正が疑われる場合は、不正行為として取り扱うことがあります。

### 13. 合格発表

- (1) 合格者には、合格発表日に合格通知書を速達で発送します。なお、不合格者への郵送での通知は行いません。
- (2) 本学構内では、合格発表や合格通知書等の交付は行いません。また、合否結果についての問い合わせには一切応じません。
- (3) 合格通知書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- (4) 合否結果はマイページ「合否結果」から確認できます(29頁参照)。下記 URL または二次元コードからログインしてください。

マイページログイン URL: <https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja>



#### ① マイページ「合否結果」公開期間

| 合否結果公開開始            | 合否結果公開終了             |
|---------------------|----------------------|
| 2027年3月6日(土)17:00から | 2027年3月31日(水)17:00まで |

- ② 本学への電話による合否の確認、操作方法の問い合わせ、受験番号確認などには一切応じません。
- ③ マイページの誤操作などを理由とした編入学手続期間終了後の入学手続きや、その他のトラブルについては受け付けません。

#### 14. 編入学手続きおよび学費等

編入学手続きは、インターネット出願の際に利用した「マイページ」から、Web 上で行います。

詳細は、合格者向け特設サイトに公開される「入学手続要項」およびマイページ内の「オンライン入学手続き」メニューから入学手続きガイダンスを確認し、各締切日までに編入学手続きを行ってください。

なお、所定の手続締切日までに編入学手続きを行わない場合、入学の意志がないものとみなします。

##### (1) 学費等

| 費 目       |                   | 金 額 (円)   |           |
|-----------|-------------------|-----------|-----------|
|           |                   | 第3年次編入学   | 第2年次編入学   |
| 入 学 金     |                   | 140,000   | 140,000   |
| 学 費       | 授 業 料             | 880,000   | 919,000   |
|           | 教 育 充 実 費         | 40,000    | 40,000    |
|           | 学 園 整 備 費         | 200,000   | 200,000   |
|           | 計                 | 1,120,000 | 1,159,000 |
| 受 託 徴 収 金 | 学 生 自 治 会 入 会 金   | 850       | 850       |
|           | 学 生 自 治 会 費       | 5,000     | 5,000     |
|           | 同 窓 会 入 会 金       | 10,000    | 10,000    |
|           | 教 育 後 援 会 費       | 5,000     | 5,000     |
|           | 学生教育研究災害傷害保険料     | 1,400     | 2,100     |
|           | 学生教育研究災害付帯賠償責任保険料 | 680       | 1,020     |
|           | 計                 | 22,930    | 23,970    |
| 合 計       |                   | 1,282,930 | 1,322,970 |

- 注1. 受託徴収金は、学生自治会、同窓会、教育後援会および公益財団法人日本国際教育支援協会から委託されて徴収するものです。  
 2. 本学では学生教育研究災害傷害保険および学生教育研究災害付帯賠償責任保険は全員加入とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が保険契約者、学生が被保険者となります。  
 3. 学費等については、変更になる場合もあります。

##### (2) 編入学手続き方法

合格者向け特設サイト、「入学手続要項」を確認のうえ、マイページの「オンライン入学手続き」メニューから、各締切日までに第1次および第2次編入学手続きを行ってください。

##### (3) 編入学手続締切日等

| 手続<br>区分 | 費目                 | 金額(円)   |         | 編入学手続締切日<br>(納入期限) |
|----------|--------------------|---------|---------|--------------------|
|          |                    | 第3年次編入学 | 第2年次編入学 |                    |
| 第1次      | 第1次納入金<br>(入学金)    | 140,000 | 140,000 | 2027年 3月12日(金)     |
| 第2次      | 第2次納入金<br>(春学期学費等) | 577,930 | 598,470 | 2027年 3月22日(月)     |
|          | 秋学期学費等             | 565,000 | 584,500 | 2027年 10月31日(日)    |



#### (4) 編入学手続時提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

- ① 誓書・個人情報に関する同意書
- ② 住民票の写し(原本・マイナンバーの記載がないもの)
- ③ 学生カード
- ④ 顔写真データ(大学に在籍している間、所持する学生証等に使用)
- ⑤ パスポートおよび在留カードのコピー(外国籍の者のみ)
- ⑥ 卒業(修了)証明書(卒業(修了)見込みで出願した者)または在学期間証明書等(11 頁または 15 頁の出願資格(5)で出願した者)、および成績証明書(単位修得状況が記載されたもの)の原本

#### (5) 大規模自然災害に係る受験者等への経済的支援

##### ① 経済的支援の対象者

学費負担者が被災した受験者ならびに編入学予定者としてします。

なお、支援対象となる災害については、下記本学 Web サイトを参照してください。

[「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「学費／奨学金等」→「奨学金・支援制度」→「大規模自然災害等に係る経済的支援」](#)



##### ② 経済的支援の基準(罹災証明書により被災状況を確認します)

| 被災状況                               | 経済的支援の内容                 |
|------------------------------------|--------------------------|
| 学費負担者が所有する自宅家屋が全壊(流失)あるいは大規模半壊した場合 | ・入学検定料の納入免除<br>・入学金の納入免除 |

##### ③ 申請書類

罹災証明書(コピー可)

##### ④ 申請方法

入学センターへ事前に問い合わせのうえ、罹災証明書(コピー可)を提出してください。

##### ⑤ 申請期限

a.入学検定料の納入免除については、出願受付締切日までとします。

b.入学金の納入免除については、第1次編入学手続締切日までとします。

##### ⑥ 被災した受験者への経済的支援に関して、罹災証明書が期限に間に合わない場合やその他不明な点等がある場合は、入学センターまで問い合わせてください。

千葉商科大学入学センター 電話番号 047-373-9701

受付時間 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日の受付は行いません)

#### 15. 単位認定の取り扱いについて

本学編入学以前に修得した単位については、各学部の定める編入学単位認定基準に基づき認定します。なお、第3年次、第2年次のいずれに編入学した場合も、単位認定結果によっては卒業までに正規の修業年限以上かかることがあります。

#### 16. その他

(1) 一度受理した書類および納入手続きの完了した編入学時納入金は、返還しません。

(2) 編入学手続完了後、入学資格のないことや、提出書類に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。

(3) 本学在学学生には、資格取得支援制度、成績優秀者表彰制度等があります。

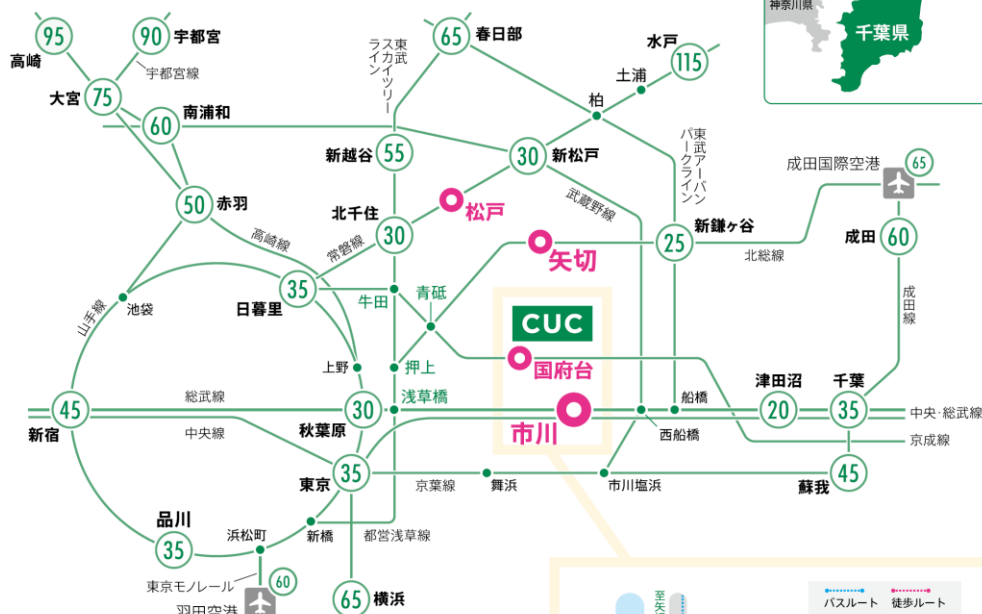
また、日本学生支援機構奨学金等も取り扱っています。詳細は、本学 Web サイトを参照してください。

なお、本学は大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)による修学支援の対象校となっています。前籍校で日本学生支援機構の給付奨学金を受給し、高等教育の修学支援新制度を利用していた場合は、利用状況により本学での制度利用に制限があります。

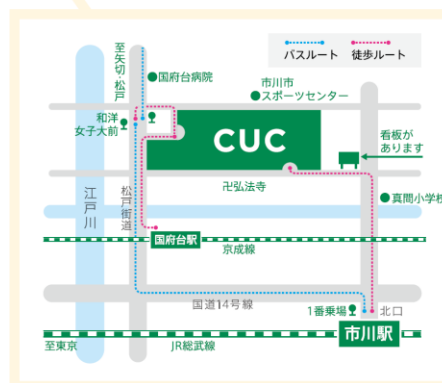
入学金に関して過去に減免を受けていた場合、本学での減免は受けられません(入学金減免が受けられるのは1回のみ)。該当する方で詳細を確認したい場合は、入学センターへ問い合わせください。

## 17. 試験会場案内

### 千葉商科大学 市川キャンパス ACCESS



- JR総武線 市川駅** ≫バス10分/北口京成バス1番乗場から松戸方面行き、「和洋女子大前」下車。または徒歩20分。
- JR常磐線 松戸駅** ≫バス20分/西口京成バス1番乗場から「市川駅」行き、「和洋女子大前」下車。
- 京成線 国府台駅** ≫徒歩10分。
- 北総線 矢切駅** ≫バス10分/京成バス「市川駅」行き、「和洋女子大前」下車。



丸囲み数字はCUCまでのおおよその所要時間(分) ※乗り換え等の時間は含みません。

### 市川キャンパス建物配置



入試に関する問い合わせ先

## 千葉商科大学 入学センター

〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号

T E L (047)373-9701

Web サイト <https://www.cuc.ac.jp/>

E-mail info@cuc.ac.jp



### 個人情報の取り扱いについて

志願者の個人情報(氏名、住所、出身校名、その他当該志願者と特定できる情報)は、本学の個人情報保護方針に基づき、適正に管理します。

なお、入学者選抜や合格通知発送、入学等に関する事、ならびに個人を特定できない統計資料作成以外の目的に使用することはありません。